

平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年1月10日

上場会社名 株式会社グラフィートデザイン 上場取引所 大
 コード番号 7847 URL <http://www.gd-inc.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山田 恵
 問合せ先責任者 （役職名）取締役経理部長 （氏名）窪田 悟 （TEL）0494（62）2800
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績（平成23年3月1日～平成23年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年2月期第3四半期	2,594	3.6	401	41.2	383	37.9	383	188.0
23年2月期第3四半期	2,505	43.9	284	—	278	—	133	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第3四半期	5,520	71	—	—
23年2月期第3四半期	1,916	85	—	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	％	円	銭
24年2月期第3四半期	4,088	1,575	38.5	22,686	13
23年2月期	3,425	1,196	34.9	17,232	43

（参考）自己資本 24年2月期第3四半期 1,575百万円 23年2月期 1,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末		第2四半期末		合計
	円	銭	円	銭	円 銭
23年2月期	—	—	0	00	0 00
24年2月期	—	—	0	00	— —
24年2月期（予想）	—	—	—	—	0 00

（注）当四半期における配当予想の修正有無： 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
通期	3,596	1.5	531	4.5	502	△1.6	375	42.6	5,401	10

（注）当四半期における業績予想の修正有無： 有

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期３Ｑ	69,456株	23年2月期	69,456株
24年2月期３Ｑ	一株	23年2月期	一株
24年2月期３Ｑ	69,456株	23年2月期３Ｑ	69,456株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は、終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んでいた個人消費も緩やかに回復傾向がみられたものの、欧米諸国の財政問題等に伴う経済の減速感、更なる円高の進行、継続的なデフレ傾向による企業収益の悪化等景気の先行きは依然として予断を許さない状況が続いております。

また、ゴルフ業界を取り巻く環境におきましては、ゴルフクラブの価格において依然として価格競争が一層厳しい状況で推移している中、自粛ムードが和らぎゴルフ場でのプレー回数の回復等明るい兆しも見えてまいりました。

このような状況の中、当社グループはゴルフシャフトの販売伸張と自転車フレーム等製造販売の事業の販売拡大に傾注してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,594,992千円（前年同期比3.6%増）、営業利益401,394千円（前年同期比41.2%増）、経常利益383,735千円（前年同期比37.9%増）となりましたが、新会計基準の導入により四半期純利益383,446千円（前年同期188.0%増）となりました。

セグメント別の主な状況は、下記のとおりであります。

①日本

自社ブランドゴルフシャフト製品の販売が比較的堅調に推移した結果、売上高が前年を上回る結果となりました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,236,674千円（前年同期比6.4%増） 営業利益496,375千円（前年同期比32.3%増）となりました。

②米国

米国経済は、景気対策等に取り組んでおりますが、長期的な失業者や若年失業者の問題がクローズアップされ、景気回復には至っていない状況の中であります。この様な経営環境の中、知名度向上に努めるとともに販売拡充に傾注してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は358,318千円（前年同期比11.0%減）となったものの、営業損失94,644千円（前年同期は営業損失89,186千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ662,662千円増加し、4,088,480千円となりました。

主な要因は、流動資産において、現金及び預金が349,050千円及びたな卸資産が98,347千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ283,870千円増加し、2,512,792千円となりました。

主な要因は、売上高増加に伴い仕入債務が131,968千円増加し、また、新会計基準による資産除去債務45,485千円が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末と比べ378,792千円増加し、1,575,687千円となりました。

主な要因は、四半期純利益383,446千円を計上したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ349,050千円増加し、1,419,862千円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、156,010千円（前年同期は241,634千円の収入）の収入となりました。

主な要因は、たな卸資産の増加により101,886千円の支出となり、売上増加に伴い仕入債務が135,041千円の増加となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金は、54,286千円（前年同期は61,350千円の支出）の支出となりました。

主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が33,917千円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金は、248,536千円（前年同期は375,817千円の収入）の収入となりました。

主な要因は、借入金の248,536千円純増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期におきましては、平成24年1月10日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしましたとおり、受注の増加が見込まれ、連結売上高の予想といたしましては、3,596百万円を見込んでおります。

しかし、依然として予断を許さない状況が続いており、当社グループとして事業基盤の強化を推進してまいります。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益が1,724千円減少し、税金等調整前四半期純利益が、28,562千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は44,783千円であります。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,419,862	1,070,812
受取手形及び売掛金	849,213	829,953
商品及び製品	287,886	269,602
仕掛品	160,582	106,706
原材料及び貯蔵品	80,700	54,513
繰延税金資産	116,585	38,609
その他	150,093	42,085
貸倒引当金	△789	△778
流動資産合計	3,064,135	2,411,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	370,246	378,165
その他（純額）	247,764	238,912
有形固定資産合計	618,010	617,077
無形固定資産	48,064	49,012
投資その他の資産	358,269	348,221
固定資産合計	1,024,344	1,014,312
資産合計	4,088,480	3,425,817
負債の部		
流動負債		
買掛金	519,997	388,029
短期借入金	817,905	624,390
未払法人税等	1,841	218,222
賞与引当金	4,008	27,020
その他	151,033	92,153
流動負債合計	1,494,786	1,349,815
固定負債		
長期借入金	401,651	356,310
役員退職慰労引当金	225,906	216,784
退職給付引当金	40,857	43,203
資産除去債務	45,485	—
その他	304,106	262,809
固定負債合計	1,018,006	879,106
負債合計	2,512,792	2,228,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	589,612	589,612
資本剰余金	582,653	582,653
利益剰余金	509,402	125,955
株主資本合計	1,681,668	1,298,221
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,196	△14,889
為替換算調整勘定	△87,783	△86,437
評価・換算差額等合計	△105,980	△101,326
純資産合計	1,575,687	1,196,895
負債純資産合計	4,088,480	3,425,817

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	2,505,211	2,594,992
売上原価	1,383,749	1,319,105
売上総利益	1,121,461	1,275,887
販売費及び一般管理費	837,116	874,492
営業利益	284,345	401,394
営業外収益		
受取利息	2,743	216
受取配当金	380	383
受取手数料	6,644	5,020
雑収入	1,688	1,888
営業外収益合計	11,456	7,509
営業外費用		
支払利息	12,535	12,794
為替差損	3,296	11,834
雑支出	1,623	539
営業外費用合計	17,455	25,168
経常利益	278,346	383,735
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	7,004
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	26,837
特別損失合計	—	33,841
税金等調整前四半期純利益	278,346	349,893
法人税、住民税及び事業税	147,613	2,607
法人税等調整額	△2,403	△36,160
法人税等合計	145,209	△33,552
少数株主損益調整前四半期純利益	—	383,446
四半期純利益	133,136	383,446

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	278,346	349,893
減価償却費	58,548	65,930
ゴルフ会員権評価損	—	7,004
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,308	△2,346
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,696	9,121
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,278	△23,011
為替差損益(△は益)	1,121	△4,158
支払利息	12,535	12,794
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	26,837
売上債権の増減額(△は増加)	△210,599	△23,071
たな卸資産の増減額(△は増加)	△102,745	△101,886
仕入債務の増減額(△は減少)	181,450	135,041
その他	70,306	46,093
小計	280,692	498,243
利息及び配当金の受取額	3,123	590
利息の支払額	△13,152	△13,069
法人税等の支払額	△29,028	△329,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,634	156,010
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,821	△31,658
無形固定資産の取得による支出	△7,031	△2,258
保険積立金の積立による支出	△23,829	△16,903
その他	△1,667	△3,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,350	△54,286
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	114,999	209,499
長期借入れによる収入	400,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△138,520	△160,963
その他	△661	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	375,817	248,536
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,883	△1,210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	554,218	349,050
現金及び現金同等物の期首残高	520,487	1,070,812
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,074,706	1,419,862

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

当社グループは、炭素繊維製カーボン製品の専門メーカーとして、同一の製品系列に属するスポーツ用品であるゴルフシャフト・自転車フレーム等の製造販売及びゴルフクラブ組立加工を行っており、その種類、性質、製造方法の類似性及び販売市場等の類似性から判断して、当該事業以外に主要な事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,102,497	402,714	2,505,211	—	2,505,211
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	30,922	—	30,922	(30,922)	—
計	2,133,419	402,714	2,536,133	(30,922)	2,505,211
営業利益又は営業損失(△)	374,906	△89,186	285,719	(1,374)	284,345

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

米国……米国カリフォルニア州

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

	米国	計
I 海外売上高 (千円)	402,714	402,714
II 連結売上高 (千円)	—	2,505,211
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	16.1	16.1

(注) 1. 国又は地域は地理的近接度により区分しております。

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にゴルフシャフト製造販売をしており、国内及びアジアにおいては当社が、海外は米国を現地法人である子会社が担当しております。現地法人は独立した経営単位であり、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社は、生産、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、ゴルフシャフト製造販売のほか、ゴルフクラブ組立加工及び自転車部品等の製造販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成23年3月1日 至平成23年11月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
（1）外部顧客への売上高	2,236,674	358,318	2,594,992	—	2,594,992
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,817	—	56,817	(56,817)	—
計	2,293,491	358,318	2,651,809	(56,817)	2,594,992
セグメント利益又は損失（△）	496,375	△94,644	401,730	(335)	401,394

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△335千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失の金額の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。